

## 木造菩薩坐像



指定区分	県指定重要文化財(彫刻)
読みかた	もくぞうぼさつぞう
所在地	岡山市北区後楽園 岡山県立博物館
登録年月日	令和2年3月13日
解説	鹿忍(かしの)神社に祀られる木造菩薩坐像は、広葉樹による一木彫成(いちぼくちょうせい)である。10世紀前半より遡ると考えられ、一木彫成である神仏習合像の全体像が復元できる平安時代の事例で、県内最古の神仏習合像として重要である。
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩約25分／路面電車「城下」下車徒歩約10分／岡電バス「後楽園前」下車すぐ
公開状況	岡山県立博物館にて展示 [問い合わせ先]086-272-1149
設備	駐車場は岡山後楽園駐車場を利用。 
備考	

## 木造菩薩坐像



していくぶん (指定区分)	県指定重要文化財(彫刻)
ぶんかざいめい (文化財名)	木造菩薩坐像
よみかた	もくぞうぼさつざぞう
しょざいち (所在地)	岡山市北区後楽園 岡山県立博物館
とうろくしたひ (登録した日)	令和2年3月13日
せつめい	この像は鹿忍(かしの)神社に祀られていて、一本の木から作られています。10世紀前半より前に作られたと考えられており、県内で最も古い神仏習合像(しんぶつしゅうごうぞう)として重要です。